



国際フォーラムを踏まえた今後の取組の 方向性

2026年2月18日



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力人材育成支援・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター (ISCN)

令和7年度第2回核不拡散科学技術フォーラム

核鑑識とは？

What is Nuclear Forensics?

『核鑑識』 = 核物質・放射性物質を対象とした「鑑識」活動

“Nuclear forensics” = “Forensic activities” applied to nuclear and radioactive materials.

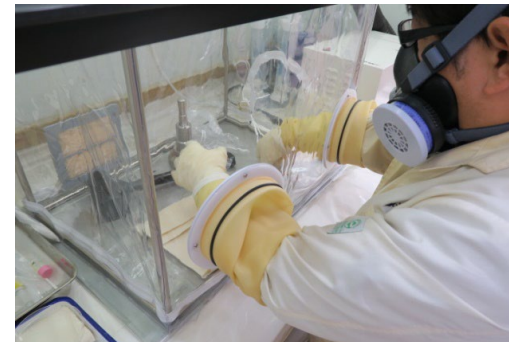
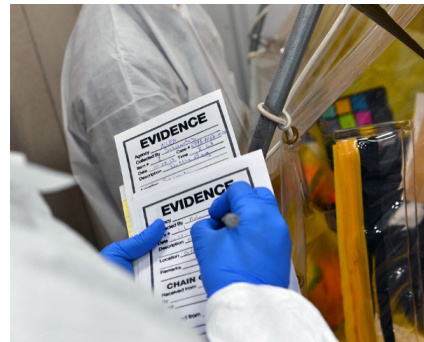
核鑑識とは、捜査当局によって押収・採取された核物質や放射性物質について、組成・物理化学的形態・同位体比などを分析し、その物質の出所・履歴・輸送経路・目的を特定する技術的手段

Nuclear forensics is the examination of nuclear and other radioactive materials using analytical techniques to determine the origin and history of this material in the context of law enforcement investigations...



捜査活動を支援し、核・RIテロの抑止に貢献

Support investigative activities and contribute to the deterrence of terrorism



～“備えの技術”で守る核セキュリティ:核鑑識と協力強化による核・RIテロ抑止の取組～ テーマの背景と目指したもの

背景

- ◆ IAEA協働センター期間延長に際し、要望に応じて協力分野を拡大して核鑑識を追加
- ◆ 機構内RNテロ対応支援体制整備
- ◆ アジアにおける核鑑識技術開発協力ニース
 - ・ タイ(OAP) : 核鑑識地域トレーニング開催(2023年)、ラオスRIセキュリティトレーニング協力
 - ・ インドネシア・イノベーション庁(BRIN) : 研究者受け入れ (2回) 及び成果を国際学会で発表
- ◆ 日本放射化学会2024、APSORC2025における核鑑識への関心の高まり

当日の議論

- ・核鑑識技術の意義と将来展望の共有
- ・核・RIテロへの対応能力強化に向けた議論を通じた研究開発や体制に関する国際的枠組強化、人材育成の推進、地域・国際協力の在り方

目指すこと

- ・一般の原子力関係者の幅広い理解・認知度向上
- ・核鑑識・核セキュリティ関係者の連携の拡大・深化

核鑑識技術開発・協力を通じて核セキュリティのレジリエンスを強化



プログラム

- 13:30~13:50 **開会挨拶**
小口 正範 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 理事長
- 13:50~14:00 **来賓挨拶**
坂本 修一 文部科学省 研究開発局局長
- 14:00~14:20 **基調講演I**
「核・放射線脅威に対する世界的備えの強化：グローバルな核セキュリティ強化戦略と核鑑識への期待」
エレナ ブグロバ 国際原子力機関(IAEA) 核セキュリティ部 部長
- 14:20~14:40 **基調講演II**
「科学と安全保障の視点 核鑑識R&Dと人材育成 — 規制機関の使命と展望、研究機関への期待」
ハリネート ムンパヤバン タイ原子力庁(OAP) 安全規制技術支援局 セキュリティ・保障措置技術支援課長
- 14:40~15:00 **JAEA/ISCN事業報告**
井上 尚子
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター センター長
- 15:00~15:15 **休憩**
- 15:15~17:10 **パネル討論**
「知と行動をつなぐ：核鑑識、国際・地域協力、人材育成による未来への備え」
- 16:45~16:55 **議長（モデレータ）サマリー**
- 16:55~ **閉会挨拶**
上田 光幸 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 理事



原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る

国際フォーラム 2025

「備えの技術」で守る核セキュリティ：
核鑑識と協力強化による核・RIテロ抑止の取組

東京都千代田区内幸町 2-1-1

12月11日(木)
13:30 - 17:00


イイノカンファレンスセンター
RoomA

ハイブリッド開催
ご来場&オンライン (ZOOM)

参加無料

お申込み先：https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_FnF5h0LbTHucF-DFyVxs2A

主催 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター (ISCN)
HP <https://iscn.jaea.go.jp/index.html>
✉ iscn-forum@jaea.go.jp
TEL 029-282-0495



国際フォーラム2025 概要報告

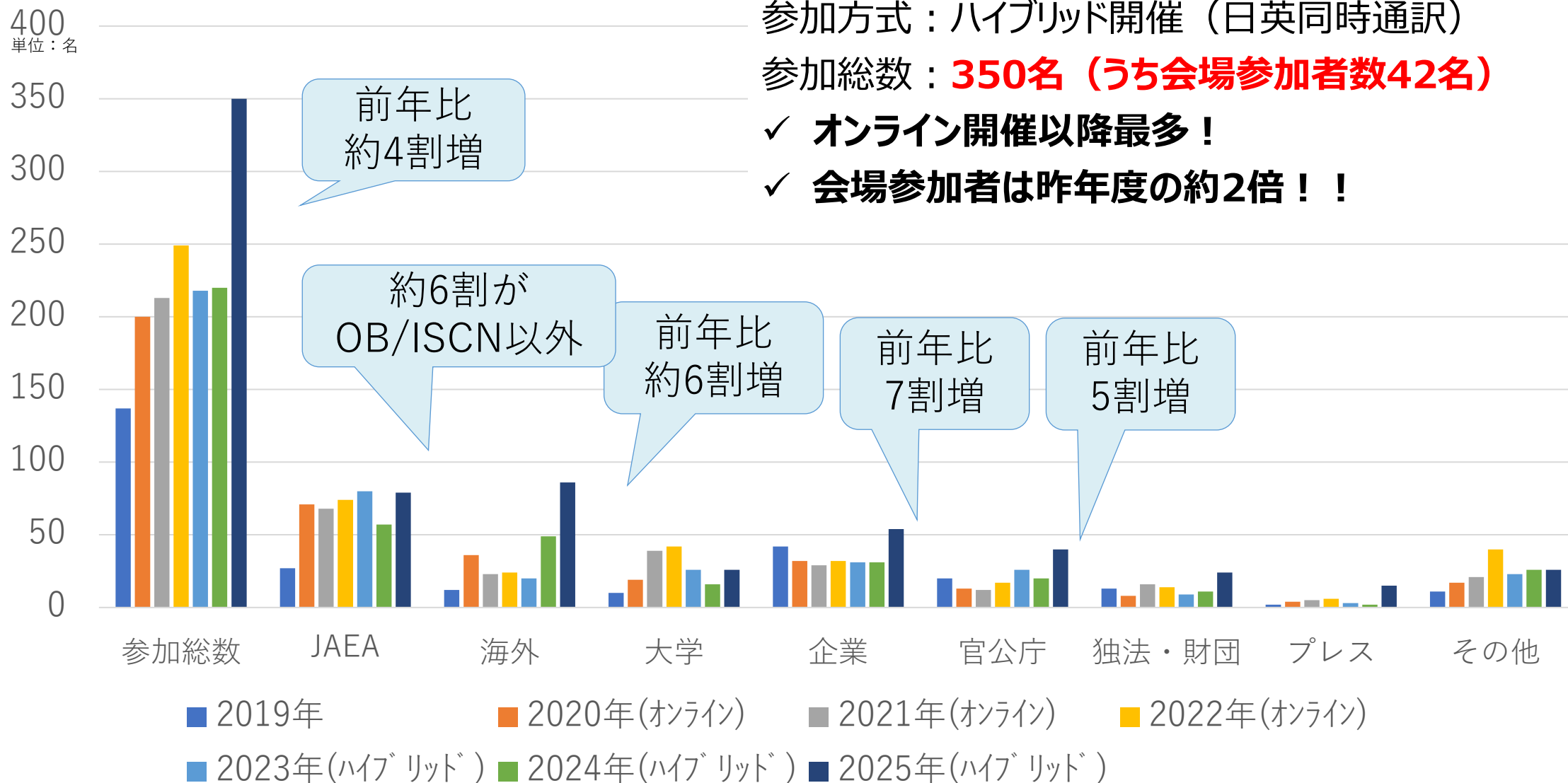
開催日時：2025年12月11日（木） 13:30～17:00

参加方式：ハイブリッド開催（日英同時通訳）

参加総数：**350名（うち会場参加者数42名）**

✓ **オンライン開催以降最多！**

✓ **会場参加者は昨年度の約2倍！！**



海外籍の参加(会場・オンライン)

・**28か国**からの参加

・参加の多かった国

インドネシア（13人）、タイ（10人）、オーストラリア（8人）、シンガポール（6人）、インド（5人）、韓国・モロッコ（各4名）、サウジアラビア（3名）、バングラディシュ・マレーシア・台湾（2名）

・以下の国からは1名の参加

UAE、ベルギー、チェコ、エジプト、英国、ガーナ、グアテマラ、カンボジア、カザフスタン、モンゴル、ミャンマー、ノルウェイ、ネパール、ロシア、ウクライナ、米国、イエメン

※**核鑑識の関心の高い国（インドネシア、タイ、オーストラリア、シンガポール）** やIAEAのネットワーク（インド、韓国、サウジアラビア、他）の参加が比較的多い。

アンケート自由記述分析

1. 全体総括

- RNテロ対策・核鑑識という一般には十分認知されていない分野への理解・認知度向上という**目的は概ね達成**
 - 原子力には関与しているものの核セキュリティの専門家ではない層、学生、関連機関に「初めて知った」「理解が深まった」という声が多い
 - **パネルディスカッション**の設計・進行には改善要望が複数あり、今後の大きな**改善ポイント**

2. 高く評価された点

- 核鑑識・RNテロ対策への認知向上
 - 「核鑑識に特化した議論は**初めて聞いた**」「**あまり知られていない分野**を取り上げたのが良い」といった声が多数
 - 技術開発、測定技術、**実例紹介**が「**現場に近い**」「**具体的**」と評価
 - **海外事例や国際協力（IAEA含む）**への関心が高い
- フォーラム全体の構成・準備
 - 「よくまとまっている」「参考になった」「内容が最新」
 - 同時通訳、オンライン（Zoom）対応への評価、開催継続への強い期待

➡ 「**知らなかった層**」に届いた

3. 今後希望する内容・テーマ

- 国際情勢の変化を踏まえた最新動向の解説
- 核不拡散・核セキュリティ（核鑑識含む）の具体事例紹介
- 技術面だけでなく政策・制度面も

※「**具体的なRテロにおける多機関さらには多国間でのディスカッション**をしていきたい。」
※核鑑識の高い国からの傍聴が多かった（特にシンガポール、オーストラリア）

4. 今後の期待

- 対象層を広げた分かりやすい企画
- 若手・学生向けの内容や参加機会の拡充
- 国際機関・海外専門家との交流機会の増加

➡ **連携の拡大・深化につながる**

次回も「核鑑識」を扱うことへの期待

**国際フォーラムを通じて、
核鑑識(RNテロ対応)への関心・興味や連携への期待の高まり**



次回の国際フォーラムも「核鑑識」をテーマに深掘・連携深化
海外：IAEA、米国、EC、英国、インドネシア、タイに加えてオーストラリア、シンガポール
国内例：治安機関、大学

(テーマ案)

- 全体的な核鑑識技術に関すること（核鑑識の基礎～応用についてJAEA並びに国際的な取組を体系的に整理）
- 個々の核鑑識技術に関すること（例えば、Pu核鑑識について集中的にフォーカス）
- 人材育成支援分野に関すること（核鑑識分野における国内外の人材育成支援の取組にフォーカス）
- 専門家が参加して参考になる部分と適用実例を含め「何のための？」等基本的で一般の方が理解できる部分で構成

ご清聴ありがとうございました。

原子力機構トップページ | サイトマップ | English

原子力機構 20th anniversary 1965-2025
 原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
 Integrated Support Center for Nuclear Nonproliferation, Security and Human Resource Development

核兵器と核テロのない世界を目指して

ISCN

トップページ センター紹介 News & Topics 技術開発及びCTBTへの貢献 人材育成 政策研究 理解増進

最新のトピックス

2026.02 ワークショップ
 Active Neutron Non-destructive Analysis Technology Development Workshop

2026.02 ISCNニュースレター
 ISCNニュースレターを更新しました (No.349)。



基調講演者やパネリスト等の集合写真
 (1-2 「原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム2025」を背景)

2025.12 ISCNニュースレター
 ISCNニュースレターを更新しました (No.348)。



パネルディスカッションの様子
 (3-3 IAEA INSEN (国際核セキュリティ教育ネットワーク) 年次大会開催報告)

20th anniversary JAEA は 2025 年 10 月に 設立 20 周年を迎えます

資料

IAEA保障措置用語集 2022年度版【英和対訳】(2025年3月5日) PDF

「資料」のページ

ISCNニュースレター

No.0349 January, 2026

- <1. お知らせ>
- <2. 核不拡散・核セキュリティに関する動向(解説・分析)>
- <3. 活動報告>
- <4. コラム>

「ISCNニュースレター」のページ

原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム

原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム2025「備えの技術」で守る核セキュリティ：核意識と協力強化による核・RTテロ抑止の取組

ISCNホームページでは、活動を詳細に報告していますので、是非、アクセスください。

ISCNホームページ
<https://www.jaea.go.jp/04/iscn/>

